

東京水道株式会社

採用案内



みずから、
はじめる。



すべては、水からはじまりました。

水は、地球を潤し、大地に恵みを与え、いのちを育みます。

そんな水を守り、まちに活力を注ぎ、
豊かな日々を支える人がいます。

当たり前の毎日に向き合おう。

いつものように朝日が昇り、目覚めて、笑顔を交わす。
穏やかな時が永遠に続くことを願いながら
水のように柔軟に、静かに、ときには激しく、生きていく。

変わるのは、いま。
水といのちと、はじめるのは私。



A close-up profile photograph of a young woman with long brown hair, looking upwards and to the right. Water droplets are scattered around her hair and face, suggesting a connection to water or purity.

みずから はじめた センパイ。

これまで自分が学んできたことを、社会に生かしたい。

仕事もプライベートも、自分らしくやりたいことを叶えていきたい。

そんな想いを胸に入社した東京水道での日々。

どんなことを感じ、入社前、入社後でどんな変化があったのか。

皆さんより一足早く自らの道を歩みはじめた、

入社1~6年目の先輩たちを紹介します。





多くの人の暮らしを 支えたいと、東京を選択。

高校生の時に熊本地震を経験。住んでいた地域一帯が断水となり、水道水が生きる上で欠かせない存在であることを身をもって体験し、水道事業に深く関心を持つようになりました。地元で就職するという選択肢もありましたが、より多くの人々を支えることのできる場所で働いてみたいと、東京水道で働くことを選びました。

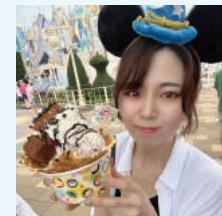
最高の技術を学べる 環境が整っています。

水道事業を志していたものの、入社以前は水道に関する知識は漠然としたものでした。会社には研修制度が充実していて、業界最高水準の技術や知識をしっかりと学ぶことができます。水道に関する技術は常に進化しているので、毎日が勉強です。資格取得の支援制度を活用し、今年も新しい資格に挑戦するつもりです。



オフタイムの過ごし方

会社のバドミントンサークルに入っていて、月に一度体育館に集まり活動しています。平日の残業もほとんどなく、仕事の後にみんなで食事会にかけたりもします。



業務内容の広さは、 成長の幅広さになる。

入社してまず驚いたのは、ひと言で「水道」に関わる仕事といっても、業務が本当に多岐に渡っていることです。さまざまな役割があるということは、自分自身も常に新しいことを学び成長し続けられるということ。いまの工事監督業務にもやりがいを感じていますが、いずれは他の業務にも挑戦していきたいです。



仕事もプライベートも、 100%充実しています。

ラグビーの社会人クラブチームに所属しています。土日に試合が集中するのですが、しっかりと休めるので、思い切り打ち込むことができます。遠征などがある時は有給休暇も活用していますし、まわりの同僚も応援してくれています。仕事もプライベートも、どちらの夢も追いかけられるのは幸せです。

オフタイムの過ごし方

趣味は「筋トレ」です！ほとんど定時で帰れるので、ジムに寄ってトレーニングしてから家に帰ります。休日はもちろんラグビー！仲間と飲みにいくことも多いですね。





「水道」に情熱を持つ
先輩たちに刺激を受けています。

総合職(土木)
維持管理業務
余宮 成哉 (2018年入社)
多摩水道技術本部 多摩管路部
桜ヶ丘管路管理事業所 維持管理グループ



首都東京の水を支えるという
大きな仕事を志して。

総合職(土木)
給水装置業務
高本 夏希 (2018年入社)
お客様サービス本部 窓口サービス部
給水装置課

入社してはじめてわかった 「蛇口」まで届けることの難しさ。

水道技術で世界トップクラスのノウハウがある環境で、スケールの大きい現場を経験してみたい、自分を試してみたい、と思い入社しました。いざ入社して実感したのは、プロジェクトのスケール以上に、大切な「水」を一軒一軒の蛇口まで安定して届けることこそが大変なことであり、私たちがやり遂げるべきことなんだ、と。ハッとしたましたね。

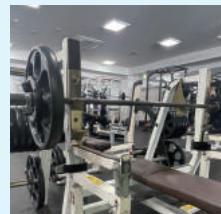
部署を越えて、 ひとつのチームになる。

当社は多くの部署があり、各自担当する業務内容も大きく異なります。入社した頃は、業務が異なれば独立した“島”的になって、横のつながりはないのかなと思っていたのですが、むしろさまざまな専門性を持つ“ひとつのチーム”として動いている、ということに驚きました。技術以上にコミュニケーションが大切な仕事だと思います。



オフタイムの過ごし方

体を動かすことが好きなので、平日もジムに通ってリフレッシュしています。ライフワークバランスは5:5!自分時間が充実しているからこそ、仕事もがんばれます!



若い社員が 活躍できる職場。

子供の頃からライフルライフルに関わる仕事に興味を持っていました。就職活動の際、当社のインターンシップに参加し、若い社員が活躍している会社だという印象を持ったことが、入社を決めた理由の一つです。実際に、私たち若い社員の意見や提案にフラットに耳を傾けてもらいます。管理職含め女性社員も数多く活躍している職場です。



社員寮があったことも、 東京で働くという動機に。

東京という大都市を支える大きな仕事をしてみたいと思う一方、東京での一人暮らしや働くことへの不安があるなかで、入寮制度は入社を決意する後押しになりました。寮といっても普通のマンションなので自由ですし、通勤にも便利です。当社は、日本全国から人材が集まっています。

オフタイムの過ごし方

2年前にバイク免許を取得!休日は都内をあちこち走って東京を満喫しています。平日は推しのK-POPアイドルの曲を聴きながら、リラックスして料理をするのが日課です。





どんな時でも安定して 仕事ができる、ということ。

学生時代にコロナ禍を経験したこともあり、世の中が不安定な状況でも安定して働ける会社を探し求め、「水道」という生活に一番身近で、欠かせない仕事に巡りあうことができました。学校では機械を学んできましたが水道に関してはまだまだ知らないことだらけ。いま毎日通っている「給水所」の役割も入社後に初めて知りました(笑)。一つ一つが学びの日々です。

女性の先輩たちの経験談も 参考になります。

会社全体で働きやすい環境にしていく、という雰囲気があります。先日は他部署の方も含めて女性の先輩方の経験談を聞く機会がありました。育休制度などがあるのは知っていても、実際に利用してみてどうだったのかなどご本人の体験談として聞くリアリティを持ってイメージできましたし、何より将来の働き方に安心感を持てました。



オフタイムの過ごし方

有給休暇も取りやすいので、あちこち一人旅を楽しんでいます。今年は京都、九州、広島に行きました。野球観戦も趣味なので、名古屋まで遠征したこともあります!



日々の疑問に答えてくれる 先輩たちの存在。

事業所近くの河川や浄水の各過程ごとに水のサンプルを取り、分析する業務を担っています。結果によってその日の浄水処理が変わってくるので責任を感じますね。さまざまな分析機器を使うこともあり1年目は覚えることが多く大変でしたが、わからないことは先輩たちに何でも聞ける環境で、一つ一つクリアしていくことができました。



学生時代は微生物の研究に熱中。 そこで気づいた、水の大切さ。

学生時代、微生物の研究をしていました。そこで水の大切さに気づき、水に関わる仕事に携わりたいと東京水道を選びました。毎日分析を重ねていくと季節や天気によって結果に特徴が出るので、その原因を調べていくのが楽しいです。大雨も増えていますが、どんな時でも安定しておいしい水を提供していきたいです。

オフタイムの過ごし方

趣味はライブに行くこと! 休日はもちろん、時間休(1時間単位で有給休暇が取得できる制度)を利用して、少しだけ早く退社し、ライブを観に行くのも楽しみです。





みずから はじめる オシゴト。

人々が生きていくうえで欠かせない「水」を届けるという責任。
経験を積み重ねてきたからこそ大切にしている想い、
やりがいを感じる瞬間とは？
会社を支え、現場の中核として活躍している
先輩社員にインタビューしました。
未来の自分の姿が、重なるかもしれません。







総合職(土木)
設計業務
主任 栗田 凱貴
TOKYO WATER CO., LTD. (2014年入社)
水道技術本部
管路整備部
本管設計課

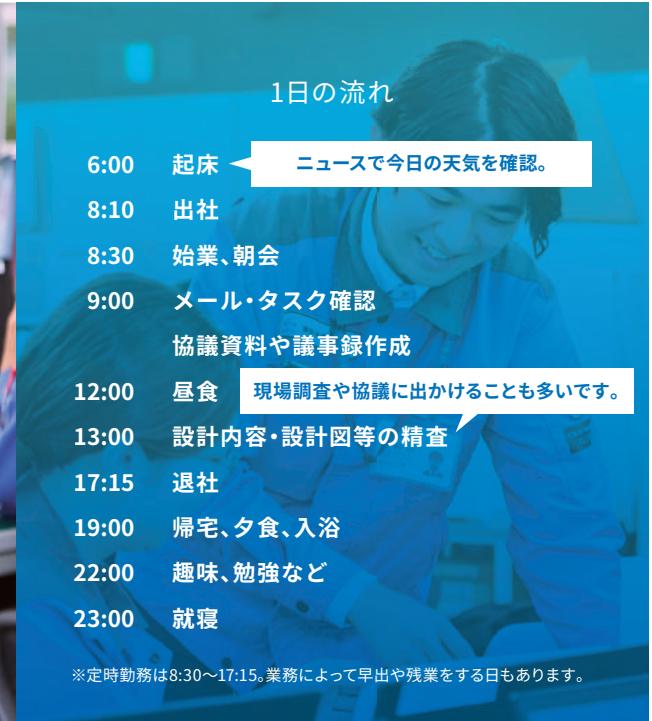
自分が設計した案件が、実際に現実のものとなった時には、感慨深いものがあります。

水道管路は大きく分けると導水、送水、配水、給水があります。私は「配水」の基幹管路である配水本管に関わる設計業務を担当しています。計画から施工者が実際に施工を行えるところまで段取りするのが仕事です。東京都をはじめ各部署と協議を行い、一つ一つ積み上げていく作業は大変ですが、東京都という舞台で大きな事業を支えている実感があります。



いまこの時だけでなく、「将来」の当たり前も支えている、という想い。

設計というと「一人で机に向かって」というイメージがあるかもしれません、実際にはグループや課全体で協力しながら進めています。若手社員が多いこともあります、みんなで相談しながら、仕事をしていくという雰囲気があります。新しいものを作り出すことや新しい技術を取り入れることも大切ですが、「今あるものを、次の世代へより良い形でつなげていくこと」が、私たちの役割だと考えています。





計画と現場の実情の差を、どう調整し効率的に進行させていくか。
現場対応力と交渉力が問われる仕事です。

東京都では現在道路の下を通る「配水小管」の耐震化のための取替工事を進めており、その工事の監督業務を行なっています。着手から竣工まで1年以上かかる工事も多く、難所も多いなかで、多くの関係者と協力し計画通り完成した時には達成感があります。工事箇所の近所の方から耐震化が進んで安心した、舗装がキレイになったと直接労いの声をいただくこともあり日々の励みになっています。



配属は基本的に「東京都内」。
ライフワークバランスや将来設計も立てやすい環境です。

年次に関わらず誰もが有給休暇を取りやすいことは、職場の魅力のひとつです。上司がご家族の誕生日に休暇を取ったり、私自身同僚と休みをあわせて旅行でかけることもあります。また、大きな会社になると、全国規模の異動になる会社が多い中、当社は配属が基本的に東京都内に限られていることも魅力です。ライフステージや自分のキャリア特性にあった配属先を希望することができるので、将来的にも安心して働くことができます。





利害も専門も異なる関係者間を
どうつなぎ、プロジェクトを
進行させるのか。技術や知識だけではない、
「人間力」が求められる仕事です。

総合職(土木)
維持管理業務
主任 徳田 英昭
(2016年入社)
多摩水道技術本部
多摩管路部
工務課

大きなプロジェクトを動かしていくのは、“人と人”的力。
立場の異なるそれぞれの目線を探り、最適な方法を模索していく。

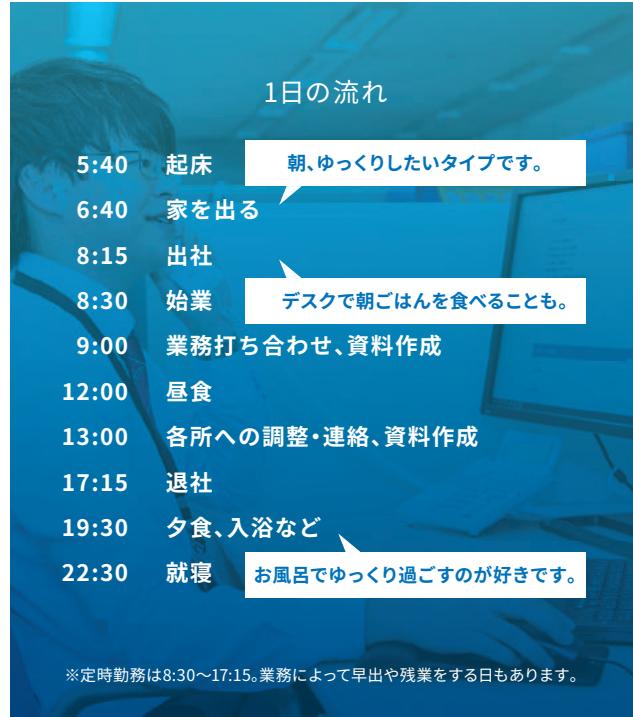
「工務課」を一言で言うと、東京都水道局と各事業所の間をつなぎ、プロジェクトの進行におけるさまざまな課題を解決していく仕事。東京都水道局からの仕様書の内容を理解し、それがどういった意図を持って書かれているのかを当社の担当者へ伝え、あるいは逆に、現状を見据えた現場からの要望を聞き取り東京都へわかりやすく説明し、解決方法を見出していく、といったやりとりを日々行っています。



年齢やスキル、専門性などの違いを超えて、
お互いに気兼ねなく学びあえる職場づくりをしていきたい。

業務で培ったスキルは、後輩を育てていく場面でも役立っていると思います。まだ入社間もない人や異動してきたばかりの人に、いきなり専門用語で話しても、理解してもらうことはできません。ですので、彼らの立場にたって、理解できる言葉に翻訳したり、絵を描いて説明したりと、一つ一つ噛み砕き、確かめながら説明ていきます。若い社員の目線に自ら降りていって、若者に自分から学ぼうとする上司の姿勢が、私の理想です。





給水装置業務とは、
水道水を利用するお客さまに最も近い仕事です。

「給水装置」とは、道路の下を通る配水管から各家庭に引き込まれた給水管、水道メータ、蛇口などをいい、いわば水道水を利用するお客さまに一番近い部分にあたるもので。私は入社後、給水装置業務に従事し、お客さまと身近に接してきました。今は本社で都内各エリアの給水管工事事務所で働く社員のバックアップやお客さまサービス向上につながる取組を企画しています。



何事にも前向きに取り組むことで、
興味が広がり、自然と自分自身で仕事を工夫するようになります。

前向きに物事に取り組める人は、自分がやるべき仕事に興味を持ち、マニュアル等の勉強も含め、知る工夫をする人が多いと思います。私の従事している「給水装置業務」は、業務マニュアルを含め工事の申込手順や条例の勉強をすれば、お客さまに助言できる知識も増え、知れば知るほど奥深い世界です。ぜひ、自ら面白がって仕事に取り組める方と一緒に働きたいですね。





**東京という日本一の
水道事業を支えている、責任。
もっと高みへ、世界一の技術と
経験を持つ企業へと成長していきたい。**

総合職(設備)
運転管理業務
課長代理 坂本 航太
(2012年入社)
水道技術本部
浄水管理部 長沢事業所
運転管理G

1日の流れ

- | | |
|-------|-------------------|
| 6:00 | 起床、朝食 |
| 8:00 | 出社 |
| 8:30 | 始業、夜勤務の人から仕事の引き継ぎ |
| 9:00 | 管理業務 |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 管理業務 |
| 16:30 | 夜勤務の人へ仕事の引き継ぎ |
| 17:15 | 退社 |
| 19:30 | 夕食、入浴など |
| 20:30 | ゲームなど |
| 23:00 | 就寝 |

交替制で夜勤の日もあります。

※定時勤務は8:30～17:15。夜勤の定時は15:45～翌9:15。
業務によって早出や残業をする日もあります。

24時間、2交替制で浄水場を見守る仕事。原因を的確に判断し、柔軟にすばやく対応できる冷静さと経験が求められます。

川から取った水を、都民の皆さんのが飲み水にできるよう処理を行う「浄水場」の維持管理が、私たちの仕事です。浄水場内の機械や処理中の水についての情報などがすべて集まる、管理室の責任者をしています。いつ、どんな時でも一定の品質を保った水を皆さんに届けるために、24時間いつでも何か変化や不具合があれば管理室に一報が入り、状況に応じて適切な対応を指示します。



どんなことでも意思疎通を大切に、分け隔てのない、アットホームな“ワンチーム”づくりをめざしています。

浄水場の場合、24時間体制で監視する必要がありますので、より一層チームとしての連携体制が求められます。万一自分がこれまでに対応したことのない不具合などが起きた時でも、頼れる仲間がいれば、自分自身も冷静になれますし、それぞれの視点を生かしながら対応することができます。浄水場で得たデータをもとに考察を加え、会社の活動報告会で発表することができたのも、先輩含めチームの力があってこそこの挑戦でした。



1日の流れ

貴重な“ひとりの時間”!
無になって気持ちを切り替えています。

- 3:00 起床、ランニング
- 5:30 朝ごはん、家族全員分のお弁当づくり
- 8:00 出社
- 9:00 水質検査業務
- 12:00 昼食
- 13:00 調整業務
- 15:15 退社 現在は「育児短時間勤務」制度を活用中。
- 18:00 保育園へお迎え、帰宅
夕飯の準備、保育園の準備、
子どもたちのお風呂など
- 22:00 就寝

※定時勤務は8:30～17:15。業務によって早出や残業をする日もあります。



電気やガスを選べる時代に、
「水道水は選べない」。
だからこそ安心・安全でおいしい水を
当たり前に届けたい。



総合職(環境)
水質管理業務
課長代理 中村 聖子
(2009年入社)
水道技術本部
浄水管理部
小作事業所

安全でありますながら、常においしさも実現する。
「当たり前」を保つことの難しさを、日々実感しています。

「水質管理業務」とは、「原水」「浄水」「工程水」といわれる各過程ごとに、水が都民の皆さんに届けられる状態になっているかどうかを日々管理する仕事。水の状態は、日々の天気や気温などにより変化するため、変化に応じた繊細な処理が必要になります。常に安心・安全で、一定したおいしさであるという「当たり前」を保つことの難しさと同時に、台風などの影響で変化があった際も上手く調整できた時には、やりがいを感じています。



新たな業務部門として和気あいあいとした雰囲気のなか、
若いメンバーも意見しやすい雰囲気づくりを心がけています。

私が担当する「水質管理業務」は、実は、2022年度に東京都から受託した当社にとってまだ新しい業務です。これまでではその準備期間として、東京都との折衝を行ったり、社内の調整をしたり、体制づくりというこれまでにない役割を経験してきました。いまは無事業務もスタートし軌道に乗ったところですが、今後水質管理に関する技術力や経験をどう積み上げ、会社のノウハウにしていくかが、これからの挑戦だと考えています。





みずから はじめる、 社会人ライフ。

会社は「人」でできている。

だからこそ、どんな先輩がいるのか、困った時助けてくれる人はいるのか、

職場の雰囲気は気になるところ。

そしてもちろん自分を大事に生きるために、「オフの時間」も大切です。

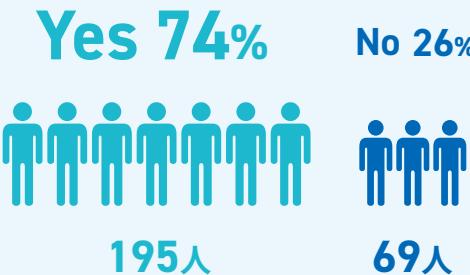
そこで先輩たちのプライベート時間について、聞いてみました。



18~27歳 若手社員264人に聞きました！

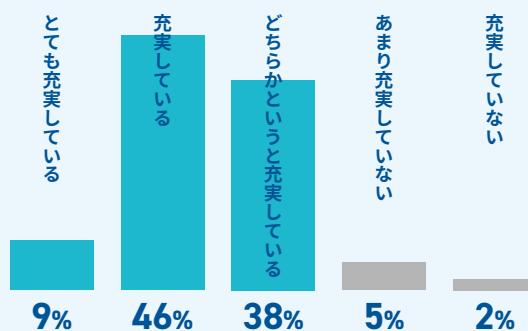
※n=264 自社調査(2023年)より

いま、ひとり暮らしですか？



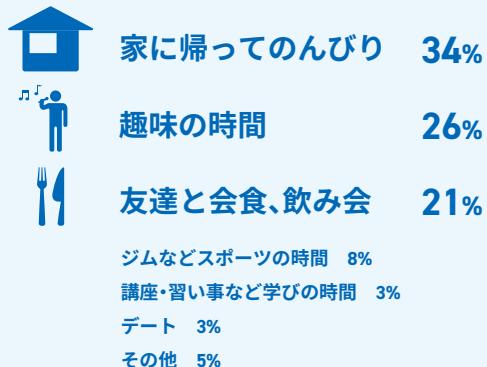
70%以上が現在「ひとり暮らし」を満喫中！
はじめてのひとり暮らしでも、社員寮(家具付き！)が
完備されているので、安心して社会人生活がスタートできます。

いまの仕事に充実感はありますか？



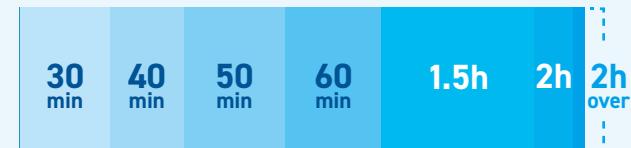
「とても～」から「どちらか」という充実しているまでをあわせると90%超。多くの若手社員が充実感をもって日々仕事に取り組んでいる様子がうかがえます。

平日のオフタイムで大事にしていることは？



家時間を思いおもいに満喫している若手社員。
時間に追われずのんびりしたり、好きなことをしてリラックスできれば、
次の日の仕事もがんばれますね。

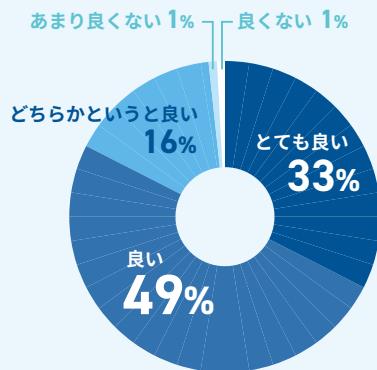
通勤時間はどのくらい？



30分未満 16% 30-40分未満 13% 40-50分未満 18%
50-60分未満 17% 1-1.5時間 27% 1.5-2時間 7% 2時間以上 2%

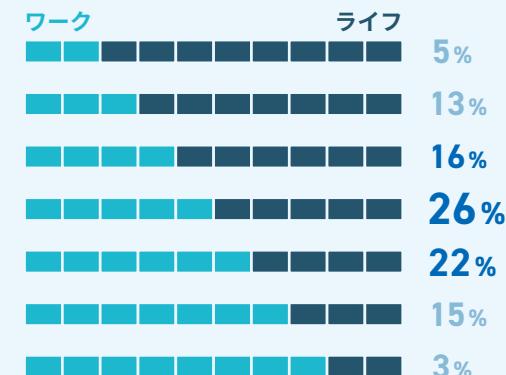
最多は「1～1.5時間」ですが、
60%以上の人人が、通勤時間は1時間未満という結果に。
社員寮も「駅に近くで通勤に便利」という声もありました。

職場の雰囲気はどうですか？



職場の雰囲気についても、98%の人が職場の雰囲気に
心地よさを感じているようです。「若い社員も多く、
困ったことがあったときに相談しやすい雰囲気がある」という声も。

自分の人生のなかで、仕事の占める割合は？



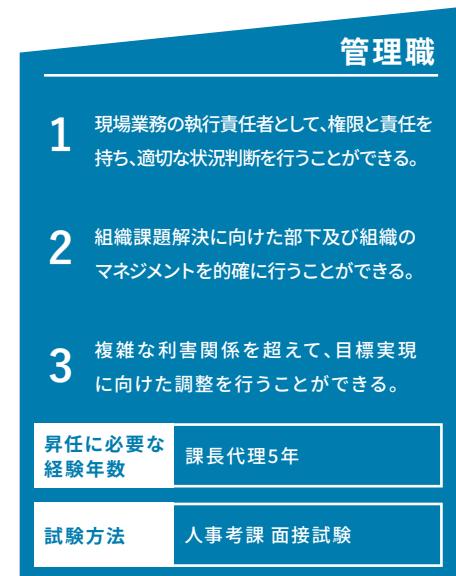
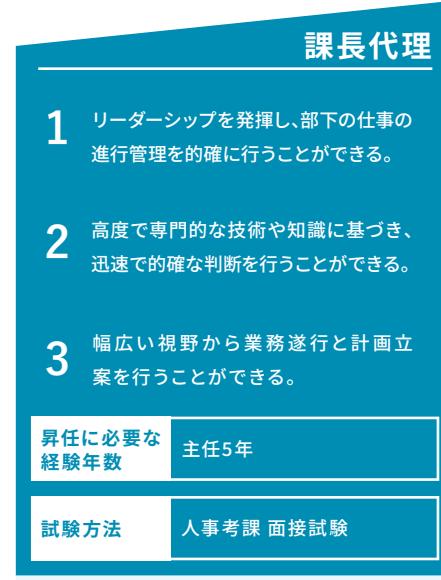
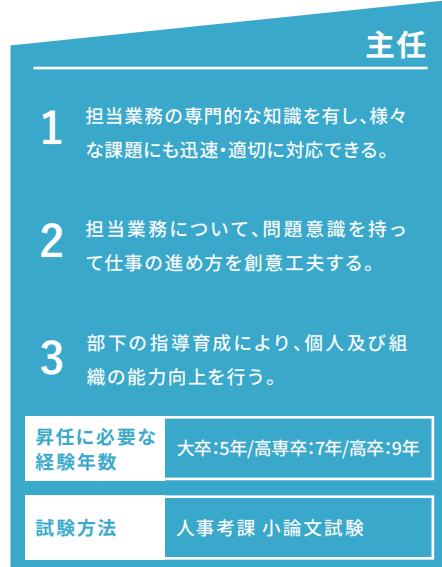
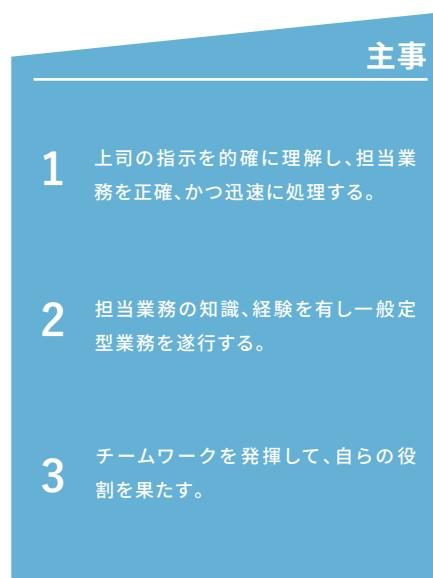
最適な「ライフワークバランス」は、一人一人違うものですが、
現在の仕事の割合は「5割」と答えた人が最多という結果になりました。

5年後、10年後の自分をイメージ。それぞれのステージで新たな景色が見えてくる。

日々の積み重ねが自分を成長させ、大きな成果となって身を結びます。

東京水道では、役割に応じたステージを用意。

着実にステップアップできる支援制度を整えています。



キャリア紹介
様々な業務を経験することが、自分の中でプラスとなっています。

水道技術のプロフェッショナル。

水道技術本部管路管理部 担当課長
杉本 高志

2009年大学院を卒業して入社。
本管工事監督業務や小管設計業務などを経験し、担当課長となる。
現在は、2023年4月から調査事業部の研究員として水道技術研究所センターに出向中。



キャリア紹介
安心・安全な東京の水道技術力を、世界にも届けていきたいです。

水道で国際貢献。

ソリューション推進本部 水道事業部 國際事業課 課長
岡田 明大

2012年大学院を卒業して入社。本管設計業務に3年間携わり、
2015年4月にプロジェクト推進部に異動。
その年の7月から2021年6月までミャンマーへ無収水※専門家として派遣される。
現在国際事業課長として本社勤務。

※無収水とは、配水管からの漏水や盗水により料金徴収ができない水を指し、
その割合が小さいほど、無収水率が優れた水道経営状態であると言える。
東京都は約3%(日本の平均10%程度)。特に発展途上国は平均30%と言われている。

知識や技術力に応じて実施、充実した研修制度。

スキルアップ、キャリアアップのための研修は、年間 50 講座以上※と充実。必須とされる研修だけでなく、希望者が受講できる研修や、資格取得に向けた講習なども用意されています。
入社してすぐは専門知識がなくても、プロフェッショナルへの道が用意されているので安心です。
※部署や入社年次によって異なります。

社員研修





技術士(上下水道部門)
谷口 啓二郎 (課長)
(2005年入社)
お客さまサービス本部
窓口サービス部
給水装置課

東京の、日本の人々の生活を支える、
高品質な上水道の維持に貢献する。

2012年度に「技術士(上下水道部門)」の資格を取得しました。これは、技術的専門知識や高い技術者倫理を備えて、社会のために行動することが求められる資格です。現在は給水装置部門の担当課長として、目立たずとも関係する



方々のお役に立てた時に充足感があります。個人による技術力向上はもちろん、さまざまな技術情報の発信も当社が果たすべき役割だと考えています。かつて、国際水協会(IWA)による水に関する優れた取り組み事例の公募に参加し、当社の製品(漏水発見器)の紹介を行い、東アジア地区の選考で最優秀賞を受賞できたことは良い思い出です。技術力の発展だけでなく、首都東京を支える政策連携団体の社員



として、コンプライアンスなど各種規定を遵守しようという意欲が高い方に合った会社だと思います。

保有資格

- 技術士(上下水道部門)

会社の支援制度を活用し、資格を取得。みずからはじめる、スキルアップへの道。

「蛇口をひねれば、当たり前に水ができる」
その「当たり前」を技術力で守っていきたい。



電気系の仕事が好きで、業務の中でも独学でも勉強し続けてきたという経緯があります。資格を取ることが目的、というよりも日々の仕事の延長、あるいは自分の興味の延長に資格があるといったところでしょうか。

技術力という面では、単に自分ひとりのスキルアップだけではなく、部門全体、会社全体で、いかに優れた技術や知識を体系立てて蓄積し共有していくかということも重要だと考えています。その一つとして、ベテランが長年の経験で行ってきた作業をマニュアルに落とし込む、いわゆる「暗黙知の形式知化」にも取り組んでいます。さまざまな作業に関するマニュアルを、新入社員にも理解しやすいよう、写真などのビジュアル素材を多用しながら作成しています。



保有資格

- 第二種電気主任技術者
- エネルギー管理士
- 第一種電気工事士
- 水道管路施設管理技士3級
- 水道浄水施設管理技士2級
- 危険物取扱者甲種
- 第二級陸上特殊無線技士
- 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者
- 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者



第二種電気主任技術者
齋藤 直哉
(2016年入社)
水道技術本部
浄水管理部
保全管理第二課

休暇、健康、レジャー…。充実した制度があるから、自分のライフを大切にできる。

大手ハウスメーカー施工の高品質な借り上げ物件【社員寮】



都内のおよそ20か所に、最寄り駅から徒歩圏内の
大手ハウスメーカーなどの借り上げ物件を用意しています。
家電付きで寮費は2万円前後(物件によります)。
家賃の高い都内ですが、地方出身者にも安心して暮らしていただけます。

暮らしを幅広くサポート【支援制度】

【奨学金返還支援制度】

30歳までに返済の奨学金については年120,000円を上限に、
31~40歳までに返済の奨学金については年6万円を上限にそれぞれ支給。

【人間ドック受診料補助】

5,500円(生活習慣病予防検診の場合は3,300円)
→保険組合の人間ドックが結果的に無料で受診できます。

【保養施設利用補助金支給】

社員本人に限り、年3泊を上限に1泊4,500円を支給。(保険組合の福利厚生との併用は不可)

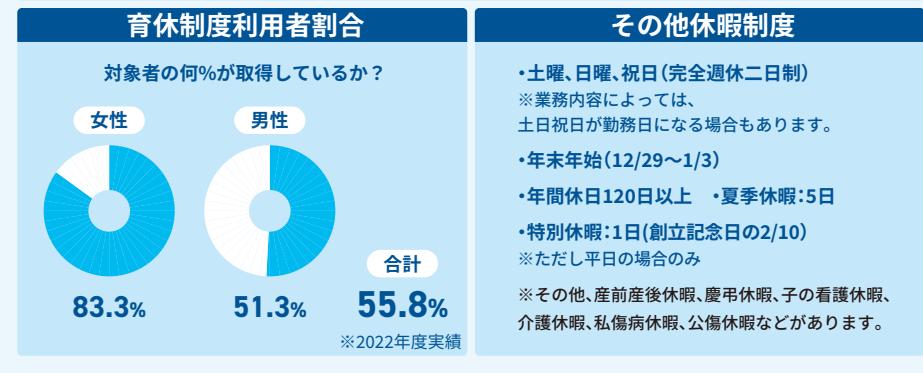
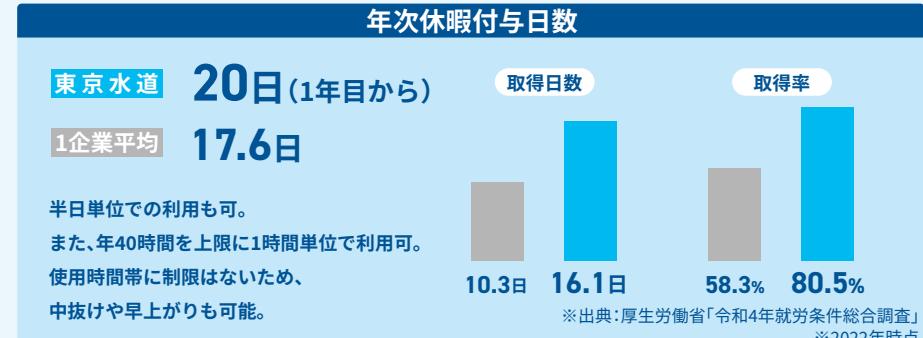
【福利厚生サービス】

業界最大手のベネフィット・ステーションに加入。グルメやレジャー、ショッピングだけでなく
eラーニングや介護・引っ越しなどライフイベントに関わるものまで、幅広いメニューを取りそろえています。

【その他サポート】

慶弔見舞金の支給、厚生資金貸付制度などがあります。

自分の時間を作りやすい制度【休日・休暇】



低い社会保険料率が魅力【健康保険組合(TJK)】

東京水道株式会社は東京都情報サービス産業健康保険組合(TJK)に加入。

社会保険料率が低く、
社員の負担が軽減

全国の有名宿泊施設が
格安で利用可能

出産育児一時金
600,000円

フィットネスクラブ
割引利用

社長メッセージ



東京水道株式会社は、「日本最大級の水道トータルサービス会社」として、東京都水道局の技術系現場業務及びお客さま窓口やお客さまセンターの運営、IT、技術開発事業など、水道のほぼすべての事業を、東京都の政策連携団体として、水道局と共に支えています。東京都の水道は、1898(明治31)年より近代水道として通水を開始し、都市の近代化に欠かせないインフラとして、令和5年で125周年を迎えます。弊社は、水道の未来へ向け、このたゆまなく受け継がれてきた世界最高水準の水道技術を継承し、将来にわたり安全でおいしい水を安定的に供給するため、維持・発展させていく役割を担っています。また、東京都水道局が現在行っている業務の大半を、今後20年かけて当社に移転することが既に表明されており、現在進行形で業務の移転、拡大を進めています。さらには、125年で培った技術・ノウハウを確実に受け継ぎ、日々の安定給水はもとより、大規模災害時における対応力の強化に努めています。弊社の待遇は、政策連携団体として安定した給与体系としているほか、福利厚生では、大手ハウスメーカーと提携した高品質な寮完備をはじめ、奨学金返済助成制度、多様な休暇制度など日本トップクラスの手厚さを追求しています。引き続き、さらなる社員の自己実現へ向け、様々な視点から福利厚生制度の充実を図ってまいります。そして、私たちは、個人の成長=企業の発展と考え、個人の成長に目を向けた人材育成の環境と体制作りにも努めています。なかなか先行きが見通せない時代ですが、当社は、都市活動や人の生活になくてはならない水道インフラを支える安定企業であり、水道の専門企業としてこれからも成長が約束されており、益々期待される会社となります。我々とともに、東京の水道システムを最前線で支え、安全でおいしい水の安定供給と高度な技術・ノウハウで、活気ある豊かな未来の社会づくりに貢献していきましょう。

代表取締役社長 野田 数



東京水道株式会社は東京都の政策連携団体です。

政策連携団体とは、都と協働して事業等を執行し、又は提案し、都と政策実現に向け連携するなど、特に都政との関連性が高い団体のことです。

東京水道グループとして都の水道事業を支えます。

東京都水道局と当社は、対等なパートナーとして「東京水道グループ」を構成。都と連携した人材交流や共同研修、災害発生時の対応などを通じて、「東京水道グループ」の経営基盤や総合力の強化に貢献することで、将来にわたり、安全でおいしい水の安定供給を実現していきます。

安全でおいしい水を安定供給



会社概要

会社名	東京水道株式会社 (Tokyo Water Co., Ltd.)
本社所在地	〒163-1337 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー37階
電話番号	03-3343-4562(人事課直通)
創業	1966年8月
設立	2004年4月5日
代表者	代表取締役社長 野田 数
資本金	1億円
売上高	277億円(2022年度)
従業員数	約2,900人(2023年4月時点)
事業内容	1.管路施設管理事業 2.浄水施設管理事業 3.コンサルティング・調査事業 4.カスタマーサービス事業 5.ITサービス事業 6.その他事業
主要株主	東京都(水道局):出資比率80.4%、 損害保険ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、 みずほ信託銀行株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、富国生命保険相互会社
事業所	本社(新宿区)の他、東京都内の事業所(約80か所)
許認可証	プライバシーマーク(登録番号:11820050(12)) JIS Q 9001: 2015 (品質マネジメントシステム) (登録番号:JUSE-RA-638) JIS Q 27001:2014 (情報セキュリティマネジメントシステム) (登録番号:JUSE-IR-010) 労働者派遣事業許可証(許可番号:派13-314681)

男女比率

新卒入社
(2021年～2023年度)

男性
65.5%

女性
34.5%

全社員
(2022年度)

男性
74.4%

女性
25.6%

- 直近の3年で約100名の女性社員が入社
- 毎年30名程度の女性社員が入社

採用情報

○職種／募集対象

技術系総合職(土木)	【大学・大学院・高等専門学校・専門学校】 理工学系の学部・学科を専攻し卒業予定の方。または卒業後、3年以内の方。
【高校】	土木系学科を専攻し卒業予定の方。または卒業後、3年以内の方。
技術系総合職(設備)	【大学・大学院・高等専門学校・専門学校・高校】 電気・機械・制御工学系の学部・学科を専攻し卒業予定の方。または卒業後、3年以内の方。
技術系総合職(環境)	【大学・大学院・高等専門学校】 化学・薬学系の学部・学科を専攻し卒業予定の方。または卒業後、3年以内の方。
技術系総合職(林業)	【大学・大学院・高校】 林業・森林系の学部・学科を専攻し卒業予定の方。または卒業後、3年以内の方。

○待遇

初任給	【大学院卒】	239,300円
	【大学卒】	222,600円
	【高専専攻科卒】	222,600円
	【高専本科・専門卒】	206,550円
	【高校卒】	185,600円

賞与 年2回(6月・12月)
4.55か月分(初年度3.06か月分)

昇給 年1回

○勤務予定地

東京都内の弊社事務所、事業所(一部他県あり)

○通勤手当

月55,000円まで全額支給

○必要技能

普通自動車運転免許(取得見込み可)、パソコン操作技能

○労働条件

勤務時間	8:30～17:15
休憩時間	12:00～13:00(昼休み)
休日	土曜・日曜・祝日(完全週休2日制)
休暇	年次有給休暇20日(初年度から)、夏季休暇5日、年末年始休暇(12月29日～1月3日)、慶弔休暇、結婚休暇、産前産後休暇、介護休暇、その他特別休暇
加入保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
福利厚生	財形貯蓄制度、退職金制度(3年以上勤続)、福利厚生サービス団体への加入 等
社員寮	大手ハウスメーカーなどの借り上げ物件(1Kなど)

○問い合わせ先

人事部人事課 採用担当

TEL: 03-3343-4562 E-mail: saiyou@tokyowater.co.jp
会社HP:<https://www.tokyowater.co.jp/>



